資料－４

参 考 資 料

【 目 次 】

1）今後５年間における取組項目の対応状況 1

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
姫川の洗掘状況の把握・理解		○	継続	出水時における姫川の洗掘の状況及びメカニズムについては、未だ完全に解明されていないため、引き続きモニタリング調査を継続する。 ・継続して調査を実施中																			継続
		○	継続	継続して調査を実施中																			
水位・気象情報等の情報発信	R3	○	継続	引き続き、洪水時の市長による避難指示等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水位・気象情報等の情報発信を行っていく。 ・継続して情報発信を行った	○	継続	・早期注意情報（警報級の可能性）の提供 ・警報等発表時の危険度の色分けによる警戒期間と予測の提供については、防災対応支援の一環として引き続き提供を継続する。 気象状況に応じ、情報発信を行った。 ・[R03.10]最大危険度予測（土砂災害・浸水害・洪水）を用いた警戒呼びかけ ・キキクル（危険度分布）の改善：警戒レベル4相当の紫への一本化、警戒レベル5相当の黒の新設	○	継続	引き続き、洪水時の市長による避難指示等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水位等の情報発信を行っていく。 ・継続して情報発信を行った。	○	継続	引き続き、洪水時の市長による避難指示等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水位等の情報発信を行っていく。 ・継続して情報発信を行った。	○	継続	引き続き、水位・気象情報等の情報発信を行っていく。 ・継続して情報発信を行った。	○	継続	市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して適時適切な情報発信に努める。 ・継続	○	継続	防災行政無線の整備が完了し、本システムを活用した情報提供に努める。 ・継続	継続
	R4	○	継続	継続して情報発信を行った。 引き続き、洪水時の市長による避難指示等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水位・気象情報等の情報発信を行っていく。 ・継続	○	継続	・早期注意情報（警報級の可能性）の提供、警報等発表時の危険度の色分けによる警戒期間と予測の提供を引き続き継続する。 ・キキクル（危険度分布）の改善：警戒レベル4相当の紫への一本化、警戒レベル5相当の黒の新設（R4.6） ・気象庁ホームページにおける水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示（R5.2）	○	継続	・継続して情報発信を行った。	○	継続	継続して情報発信を行った。	○	継続	継続して情報発信を実施した。	○	継続	市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して適時適切な情報発信に努める。 ・継続	○	継続	防災行政無線や登録型メールによる情報発信を行った。市公式LINEの登録者も増えており、新たな情報発信のツールとして活用した。	
防災情報の更なる普及のための周知・広報	R3													○	継続	引き続き、気象情報記事を広報上越へ掲載していくため。 ・引き続き、防災関連情報を広報上越等へ掲載し、防災情報の周知・普及を図った。 ・継続	○	継続	年々変わっていく防災情報や災害時の対応のほか、自主防災組織の役員などの交代等にも対応するため、毎年継続して出前講座や防災リーダー研修を開催するほか、広報紙等で必要な情報提供を行う。 ・継続	○	継続	外部講師を招聘しての研修会を開催する。 ・継続	継続
	R4													○	継続	引き続き、防災関連情報を広報上越等へ掲載し、防災情報の周知・普及を図った。	○	継続	年々変わっていく防災情報や災害時の対応のほか、自主防災組織の役員の交代等にも対応するため、毎年継続して出前講座や防災リーダー研修を開催するほか、広報紙等で必要な情報提供を行う。 ・継続	○	継続	水害などにより避難所を開設する場合に備え、外部講師を招聘して避難所運営研修を実施した。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
水防連絡会、情報伝達訓練の実施	R3	○	継続	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。 ・一部web対応にはなったが、継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○	継続	洪水時の的確な情報発信にむけて今後も、情報伝達訓練に参画する。 ・【R03.4.20】 洪水対応演習を実施した。	○	継続	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。 ・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○	継続	平時からの訓練は大切であることから引き続き継続する。 ・一部web対応にはなったが、継続して水防連絡会に参加し、また、情報伝達演習等を実施した。	○	継続	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の連絡体制を確認する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。 ・関川姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を実施した。洪水対応演習にて、国・県・市共同の情報伝達訓練を実施した。	○	継続	災害発生時の適切な避難勧告等の発令に備え、引き続き連絡体制の確認のほか、情報伝達訓練、総合防災訓練を実施する。 ・継続	○	継続	関係機関と情報伝達訓練を実施する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	継続して水防連絡会。情報伝達訓練を実施した。引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続していく。 ・継続	○	継続	洪水時の的確な情報発信にむけて今後も、情報伝達訓練に参画する。 ・【R4.4.26】 洪水対応演習を実施した。	○	継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○	継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○	継続	関川姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を実施した。洪水対応演習にて、国・県・市共同の情報伝達訓練を実施した。	○	継続	災害発生時の適切な避難勧告等の発令に備え、引き続き連絡体制の確認のほか、情報伝達訓練、総合防災訓練を実施する。 ・継続	○	継続	災害発生時を想定した関係機関との情報伝達訓練を実施した。	
洪水時における自治体への情報伝達（ホットライン）の確立及び実施	R3	○	継続	引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援する必要があるため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。 ・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○	継続	災対法に基づく助言機関としての責務遂行のため引き続き、ホットラインによる市町村支援を実施する。 ・気象状況に応じ、適宜実施した。	○	継続	洪水時、避難勧告等の発令基準に達しているにも関わらず、災害の混乱等により市長が避難勧告を出していない時などは、重要なツールとなるため、引き続き活用していくとともに、情報伝達訓練等においても訓練していく。 ・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○	継続	ホットラインは緊急時に役立つことから引き続き継続する。 ・情報伝達演習等を実施した。	○	継続	ホットラインの継続を図る。 ・国・県とホットラインを構築済み。	○	継続	市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。 ・ホットラインの継続を図る。	○	継続	ホットラインの継続を図る。 ・ホットラインの継続を図る。	継続
	R4	○	継続	継続して水防連絡会の開催と情報伝達演習等を実施。引き続き取り組んでいく。 ・継続	○	継続	災対法に基づく助言機関としての責務遂行のため引き続き、ホットラインによる市町村支援を実施する。 ・気象状況に応じ、適宜実施した。	○	継続	・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○	継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○	継続	国・県とホットラインを構築済み。引き続き強化していく。	○	継続	市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。 ・ホットラインの継続を図る。	○	継続	国・県とホットラインを構築済み。	
水害タイムラインの検討・作成	R3	○	継続	引き続き実施するものとする。 ・検討中	○	継続	引き続き実施するものとする。 ・支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施	○	継続	引き続き実施するものとする。 ・タイムラインの見直しを実施した。	○	継続	引き続き実施するものとする。 ・検討中	○	継続	引き続き実施するものとする。 ・既存の水害タイムラインを災対法の改正に合わせ、更新を行った。	○	継続	引き続き実施するものとする。 ・継続	○	継続	引き続き実施するものとする。 ・継続	継続
	R4	○	継続	関川・姫川流域の関係機関による、流域タイムラインの検討を行った。引き続き検討を行う。 ・継続	○	継続	引き続き実施するものとする。 ・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施	○	継続	検討中	○	継続	・検討中 （一部文言の見直しは実施）	○	継続	引き続き実施していく。	○	継続	引き続き実施するものとする。 ・継続	○	継続	市における河川水位の状況に応じた水害タイムラインについて、点検・見直しを実施した。	
水位周知河川の検討及び指定	R3	○	継続	儀明川の水位周知河川等への指定あるいは指定無し等の対応完了まで、継続して支援を実施予定。 ・検討中	○	継続	儀明川の水位周知河川等への指定あるいは指定無し等の対応完了まで、継続して支援を実施予定。 ・支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	○	継続	・儀明川において引き続き試行をかさね、本指定を目指す。 ・大規模水害が発生したときは、浸水実績図を作成する。 ・新潟地方気象台と連携し、洪水警報の危険度分布を活用。 ・儀明川においては、引き続き試行を実施していく。	×	完了	姫川のほか二級河川においても水位観測、監視カメラの設置が進められており、必要な整備は概ね完了。	○	継続	儀明川の水位周知河川等への指定あるいは指定無し等の対応完了まで、継続して支援を実施予定。 ・支援を継続して実施した。	×	完了	姫川のほか二級河川においても水位観測、監視カメラの設置が進められており、必要な整備は概ね完了。	○	継続	・水位周知河川の指定のない、中小河川について、引き続き水位計設置を県と協議する。 中小河川について、ぜひ水位計を設置いただきたい。 ・継続	継続
	R4	○	継続	支援要請実績は無かったが、今後も要請があれば支援する。 ・継続	○	継続	・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施	○	継続	・儀明川においては、引き続き試行を実施していく。	－	－	－	○	継続	支援を継続して実施していく。	－	－	－	○	継続	・中小河川における水位計設置について、引き続き県と協議した。 （中小河川についても、ぜひ水位計を設置いただきたいもの）	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
水位周知河川の指定状況に関する情報共有	R3	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・協議会において周知した	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認。	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・協議会において確認した。	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・協議会において確認した。	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・協議会において指定状況を確認した。	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・引き続き確認	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・引き続き確認	継続
	R4	○	継続	情報共有するような案件は無かったが、引き続き必要に応じて周知を行う。 ・継続	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認。	○	継続	協議会において確認した。	○	継続	協議会において確認した。	○	継続	引き続き実施していく。	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。 ・引き続き確認	○	継続	協議会において水害危険性の周知状況を確認した。	
水位予測の検討及び精度の向上	R3	○	継続	現在構築中のため、継続実施。 ・検討中				○	継続	・県が管理する中小河川では水位上昇が急激で水位予測が難しいため、気象台と連携して洪水警報の危険度分布を活用、検証していく方向に転換。 ・引き続き、洪水警報の危険度分布を活用、検証してい	○	継続	・県が管理する中小河川では水位上昇が急激で水位予測が難しいため、気象台と連携して洪水警報の危険度分布を活用、検証していく方向に転換。 ・大きな動きなし。										継続
	R4	○	継続	水位予測については、全国で統一のシステム"水害リスクライン"に統合され、関係機関に公開された。引き続き水位予測の検討や精度向上について情報があれば周知する。 ・継続				○	継続	・引き続き、洪水警報の危険度分布を活用、検証していく。	○	継続	R4は大きな動きなし。										
要配慮者における避難確保計画の作成・支援	R3	○	継続	・今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、国として可能なことを実施していく必要がある。 ・継続				○	継続	・今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。 ・継続	○	継続	・今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。 ・継続	○	継続	引き続き、避難確保計画未作成の要配慮者施設に対し、支援する。 ・避難確保計画未策定の施設等に対し、作成の推進に向けた働きかけを実施した。	○	継続	平成31年4月公表の新たな姫川洪水ハザードマップに基づき、対象となる要配慮者施設の再抽出を実施。令和3年度末までに作成率100%を目指し、各施設に対し避難確保計画の作成の要請及び支援を行う。 ・令和4年3月末までに100%作成を目指し、各施設に対して避難確保計画の作成を要請中。必要に応じて作成支援を行う	○	継続	関係機関と連携し、要配慮者施設の訓練状況を確認する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	避難確保計画作成の支援要請は無かったが、引き続き要請があれば支援を行う。 ・継続				○	継続	・今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。	○	継続	・今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。	○	継続	避難確保計画未策定の施設等に対し、作成の推進に向けた働きかけを実施した。	○	継続	避難確保計画未作成の施設等に対し、作成に向けて働きかけを行い令和4年12月末までに100%作成となった。 ・今後、新潟県から市内2級河川34河川（うち姫川水系12河川）の新たな浸水想定区域が示されることから、各施設に対して避難確保計画の作成を促し、早期の100%作成を目指す。	○	継続	市内対象施設の全てにおいて、避難確保計画未作成済。 避難確保計画の見直し・修正にあたり必要な支援を実施した。	
想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表（浸水ナビ等による公表）	R3	×	完了	公表済み。				○	継続	実施済み。 ・継続水防法改正に伴い浸水想定区域指定の対象河川が拡大されたため、小規模河川についても家屋等防護対象がある河川は、氾濫推定図を作成し、区域指定を促進する。	○	継続	~~根知川についてR3に予定。~~ ・計画規模浸水想定区域図公表河川について想定最大規模に更新したら、随時、情報提供する。 ・小規模河川の氾濫推定図を作成したら情報提供する。										継続
	R4	―	―	―				○	継続	・水防法改正に伴い、浸水想定区域指定の対象河川が拡大されたため、家屋等防護対象がある全ての河川において、浸水想定区域図を作成（R5公表予定）。	○	継続	・現在、情報提供に向けて作業実施中。 （R5年度には提供見込み）										

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップの改良・周知	R3	×	完了	改良等に必要な資料は提供済み。 なお、また新たな資料提供が必要な場合は、取組項目に新規追加の上、速やかに実施するものとする。				○	継続	・計画規模浸水想定区域図公表河川について想定最大規模に更新したら、随時、情報提供する。 ・小規模河川の氾濫推定図を作成したら情報提供する。 ・継続	○	継続	~~取組目標を達成済み。~~ ・計画規模浸水想定区域図公表河川について想定最大規模に更新したら、随時、情報提供する。 ・小規模河川の氾濫推定図を作成したら情報提供する。	○	継続	R3にハザードマップを更新し、引き続き運用する。 ・想定最大規模降雨に対応した上越市洪水ハザードマップを更新し、住民へ配布した。	○	継続	水防法改正後の新たな基準に基づく洪水ハザードマップを作成・配布済み。 ・平成31年3月に水防法改正後の新たな基準に基づく洪水ハザードマップを作成・配布済み。 出前講座等を通じて周知を図る。	○	継続	機会を捉え、ハザードマップの見直しを行う。 ・令和4年度に実施が予定されている、新たな河川において浸水想定区域が示された段階でハザードマップの更新を行う。	継続
	R4	―	―	―				○	継続	・水防法改正に伴い、浸水想定区域指定の対象河川が拡大されたため、家屋等防護対象がある全ての河川において、浸水想定区域図を作成(R5公表予定)。	○	継続	・現在、情報提供に向けて作業実施中。 （R5年度には提供見込み）	○	継続	想定最大規模降雨に対応した上越市洪水ハザードマップを更新し、住民へ配布した。引き続き情報提供していく。	○	継続	姫川については、水防法改正後の新たな基準に基づく洪水ハザードマップを作成・配布済み。 ・R4～5で新たな浸水想定に基づく洪水ハザードマップを作成・配布予定。 出前講座等を通じて周知を図る。	○	継続	新たに浸水想定区域図が示される13河川について、県から事前説明を受けるとともに必要な協議を行った。	
先進事例等を踏まえた分かりやすい洪水ハザードマップの改良	R3	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	継続
	R4	○	継続	水害リスクマップと多段階の浸水想定図を公表。引き続き、わかりやすい資料の作成に取り組んで行く。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	検討を行った。	
まるごとまちごとハザードマップの整備	R3	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続				○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	継続
	R4	○	継続	取り組みへの支援等は無かったが、引き続き取り組みに必要な情報提供等支援を行う。 ・継続				○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	検討を行った。	
マイタイムライン作成の普及促進・支援	R3	○	継続	マイタイムラインの普及はまだ十分ではないと考えられるため、引き続き出前講座での講習、逃げキットの紹介・配布等を行っていく。 ・継続				○	継続	・マイタイムラインの普及に向けて、県として可能なことを実施していく。 ・継続	○	継続	・マイタイムラインの普及に向けて、県として可能なことを実施していく。 ・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○	継続	マイタイムラインの普及はまだ十分ではないと考えられるため、引き続き広報等での周知や、啓発チラシ配布等を行う。 ・町内会長を始めとする地域の防災リーダーへの研修会を通して、マイタイムラインの作成を促すとともに、引き続き広報等で周知を図った。	○	継続	出前講座等で、家庭や地域での避難行動を考えておくタイムラインの作成について周知を進めており、流域の全地区での出前講座開催を進める。 ・継続	○	継続	マイタイムラインの普及はまだ十分ではないと考えられるため、引き続き広報での周知などを実施する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	出前講座や総合学習支援の中で、講習、逃げキットの紹介・配布等を実施。引き続き取り組んで行く。 ・継続				○	継続	・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○	継続	小学校や高校に出前講座を実施し、防災意識の向上を図った。	○	継続	マイタイムラインの普及はまだ十分ではないと考えられるため、引き続き広報等での周知や、啓発チラシ配布等を行う。 ・町内会長を始めとする地域の防災リーダーへの研修会を通して、マイタイムラインの作成を促すとともに、引き続き広報等で周知を図っていく。	○	継続	出前講座等で、家庭や地域での避難行動を考えておくタイムラインの作成について周知を進めており、流域の地区での出前講座開催を進める。 ・継続	○	継続	マイタイムラインの作成に向け、学校や自主防災組織に働きかけを行った。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
重要水防箇所の共同点検の定期的な実施	R3	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施				○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施	○	継続	点検は重要であることから継続する。 ・出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	自主防災組織との合同点検を検討する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検を実施。有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続				○	継続	・出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施。	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施した。	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施した。	
自主防災のあり方・役割の啓発	R3													○	継続	有事に備えるため、引き続き啓発を行う。 ・いつ発生するかわからない自然災害に備えるため、チラシ等を配布し、啓発を行った。	○	継続	地域防災力の維持・向上のため、自主防災組織と連携した避難訓練等を実施する。 ・継続	○	継続	外部講師を招聘しての研修会を開催する。 ・継続	継続
	R4													○	継続	ビラの配布、ホームページでの広報及び防災講話を実施した。	○	継続	地域防災力の維持・向上のため、自主防災組織と連携した避難訓練等を実施する。 ・継続	○	継続	水害などにより避難所を開設する場合に備え、外部講師を招聘して避難所運営研修を実施するなど、自主防災組織の災害対応力の強化を図った。	
実践的な研修・訓練の実施	R3													○	継続	地域防災力の向上を図るため、引き続き研修会等を実施する。 ・町内会長を始めとする地域の防災リーダーを対象としたハザードマップ活用研修会を開催し、地域防災力の向上を図った。	○	継続	自主防災組織が行う自主的な避難訓練等の防災活動を支援するとともに、防災リーダー研修を開催し、必要な知識・情報を伝えていく。 ・継続	○	継続	・防災用品購入に対する補助金について、令和4年度までの時限事業（延長の予定なし）。 ・消防団との合同や避難所運営など、より実践的な訓練となるよう、自主防災組織へ依頼を継続する。 ・継続	継続
	R4													○	継続	避難所運営訓練やハザードマップ活用研修を実施した。	○	継続	自主防災組織が行う自主的な避難訓練等の防災活動を支援するとともに、防災リーダー研修を開催し、必要な知識・情報を伝えていく。 ・継続	○	継続	水害などにより避難所を開設する場合に備え、外部講師を招聘して避難所運営研修を実施した。	
自主防災組織の設立支援・防災士の養成	R3	○	新規	自主防災組織の設立・防災士の養成について、支援していく ・必要に応じて継続して支援予定										○	継続	地域防災力の向上を図るため、引き続き防災士養成講座を開催する。 ・継続	○	継続	自主防災組織補助金制度により、自主防災組織が行う資機材整備や活動費、環境整備費を支援していく。 ・継続	○	継続	防災士資格取得のための補助制度を継続する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	支援要請は無かったが、引き続き要望に応じて支援を行う。 ・継続										○	継続	防災士養成講座、スキルアップ研修を実施した。	○	継続	自主防災組織補助金制度により、自主防災組織が行う資機材整備や活動費、環境整備費を支援していく。 ・継続	○	継続	資格取得に対する補助及び、消防団特例を活用し、防災士の育成を行った。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
水防連絡会、情報伝達訓練の定期的な実施	R3	○	継続	出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・一部web対応にはなったが、継続して水防連絡会、洪水対応演習等を実施した。	○	継続	洪水時の的確な情報発信にむけて今後も継続して、情報伝達訓練に参画する。 ・【R03.4.20】洪水対応演習を実施した。	○	継続	出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○	継続	訓練は必要であることから継続する。 ・一部web対応にはなったが、継続して水防連絡会に参加し、洪水対応演習等を実施した。	○	継続	有事に備えるため、連絡体制の確認や情報伝達訓練を引き続き行う。 ・継続	○	継続	出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	関係機関との訓練を継続する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	継続して水防連絡会の開催、情報伝達演習等を実施した。出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。。 ・継続	○	継続	洪水時の的確な情報発信にむけて今後も継続して、情報伝達訓練に参画する。 ・【R4.4.26】洪水対応演習を実施した。	○	継続	・継続して水防連絡会、情報伝達演習等を実施した。	○	継続	・継続して水防連絡会、情報伝達訓練等を実施した。	○	継続	連絡体制の確認や情報伝達訓練を引き続き実施した。	○	継続	出水期前における水防連絡会の開催や洪水対応演習の実施は、有事に備えた関係機関との速やかな情報伝達の訓練の場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	関係機関との情報伝達訓練などを実施した。	
避難訓練の実施及び実施状況の情報共有	R3				○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村支援を引き続き実施する。 ・支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。							○	継続	市が委嘱する防災アドバイザーを派遣し、自主防災組織や町内会における防災体制を整えるとともに、訓練等の重要性について説明する。 ・継続	○	継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止としたが、規模や実施方法を工夫し、毎年実施していく。 ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全市一斉での防災訓練とせず、自主防災組織役員等を対象とした感染症対策を踏まえた避難所設営・運営について訓練した。	○	継続	防災士又は市職員による講話を継続する。 ・継続	継続
	R4				○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村支援を引き続き実施する。 ・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施							○	継続	市が委嘱する防災アドバイザーや市職員を派遣し、自主防災組織や町内会における防災体制を整えるとともに、訓練等の重要性について説明した。	○	継続	全市一斉での防災訓練を実施し、地区での避難行動の確認や避難所設営などを行い、地域防災力の向上につなげる。 ・防災リーダー研修や出前講座などを通じて実施状況を共有し、自主的な防災活動につなげる。	○	継続	コロナ禍により訓練実施を見送る自主防災組織が多くあったことから、非対面式の訓練など、感染症対策を踏まえた訓練を提案した。	
水災害教育の継続的な実施	R3	○	継続	水災害教育については、今後も継続して実施していくことで、一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き、取り組んでいく。 ・有識者を招いた水災害教育を実施した	○	継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため自治体の要請に応じた支援体制を維持する。 ・支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	○	継続	・水災害教育については、今後も継続して実施していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んで行く。 ・継続	○	継続	防災教育は重要であることから継続する。 ・出前講座「新潟県マイタイムライン教室」を実施。	○	継続	有事に備えるため、引き続き水災害教育を行う。 ・小中学校等で避難訓練を実施。河川付近の学校で、水害想定の避難訓練等を実施。	○	継続	水災害に限らず、様々な災害にも対応できるよう実施内容を見直しながら実施していく。 ・水災害に限らず、様々な災害にも対応できるよう実施内容を見直しながら実施していく。 令和３年度においては、新潟県糸魚川地域整備部と共同して、糸魚川白嶺高校においてマイタイムライン教室を開催した。	○	継続	防災士又は市職員による講話を継続する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	有識者を招いた水災害教育を実施した。引き続き取り組んで行く。 ・継続	○	継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため自治体の要請に応じた支援体制を維持する。 ・関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施	○	継続	・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」を実施。	○	継続	小学校や高校に出前講座を実施し、防災意識の向上を図った。	○	継続	・小中学校等で避難訓練を実施。河川付近の学校で、水害想定の避難訓練等を実施。	○	継続	水災害に限らず、様々な災害にも対応できるよう実施内容を見直しながら出前講座等を実施していく。	○	継続	小学校において、防災に関する講話を実施した。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
出前講座等の説明会の継続的な開催	R3	○	継続	水災害教育については、今後も継続して実施していくことで、一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き、取り組んでいく。 ・水災害等に関する出前講座を実施した	○	継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、出前講座等の要請に対応する。 ・出前講座等の機会に水防災に関する防災気象情報を説明した。	○	継続	・水災害教育については、今後も継続して実施していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んで行く。 ・継続	○	継続	防災教育は重要であることから継続する。 ・出前講座「新潟県マイタイムライン教室」を実施。	○	継続	有事に備えるため、引き続き水災害教育を行う。 ・外部機関等からの要請に応じ出前講座等を実施した。	○	継続	引き続き、学校からの要請に応じ、出前講座を実施していく。 ・継続	○	継続	防災士又は市職員による講話を継続する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	水災害等に関する出前講座を実施した。引き続き取り組んで行く。 ・継続	○	継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、出前講座等の要請に対応する。 ・出前講座等の機会に水防災に関する防災気象情報を説明した。	○	継続	・出前講座「新潟県マイ・タイムライン教室」や町内向けの防災説明会を実施。	○	継続	小学校や高校に出前講座を実施し、防災意識の向上を図った。	○	継続	・外部機関等からの要請に応じ出前講座等を実施した。	○	継続	引き続き、学校からの要請に応じ、出前講座を実施していく。 ・継続	○	継続	自主防災組織からの要請に基づき、防災士や市職員を派遣した。	
広報資料の作成、配布	R3	○	継続	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料の作成や配布については、今後も継続して実施していくことで、一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き、取り組んでいく。 ・デジタルサイネージ等、必要に応じて広報資料を配付	○	継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、広報資料等の配布を継続する。 ・水防災に関する防災気象情報の資料を作成し、出前講座等で使用 ・大雨に対する備えを記したパンフレットを発行し、必要に応じて配布実施	○	継続	・当該取組は継続していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んで行く。 ・継続	○	継続	住民への周知のため継続する。 ・広報資料（ビラ）を配付	○	継続	今後も定期的に広報誌に掲載する。 ・災対法改正の周知のチラシによる住民周知や、ハザードマップの配布など、広報活動を実施した。	○	継続	ハザードマップの配布や市広報紙への掲載のほか、防災意識の醸成に役立つグッズ等の研究・作成を行っていく。 ・防災情報を広報紙へ掲載するほか、防災意識の醸成に役立つグッズ等の研究・作成を行う。	○	継続	市報による意識啓発を継続する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	出前講座や総合学習支援等において資料を配付。水防災意識社会の普及啓発のため、引き続き取り組んで行く。 ・継続	○	継続	引き続き、防災意識の普及啓発のため、広報資料等の配布を継続する。 ・水防災に関する防災気象情報の資料を作成し、出前講座等で使用 ・大雨に対する備えを記したパンフレットを発行し、必要に応じて配布実施	○	継続	・当該取組は継続していくことで一般に広く根付いていく活動であるため、引き続き取り組んで行く。	○	継続	道の駅など、人が集まる場所への啓発チラシの配布を継続して行った。	○	継続	・災対法改正の周知のチラシによる住民周知や、ハザードマップの配布など、広報活動を実施した。	○	継続	ハザードマップの配布や市広報紙への掲載のほか、防災意識の醸成に役立つグッズ等の研究・作成を行っていく。	○	継続	市報において、防災に関する特集記事を掲載した。	
河道掘削、急流河川対策、河道拡幅、築堤等の実施	R3	○	継続	現在整備中のため、継続実施。 ・維持掘削を継続実施。				○	継続	緊急度を見極めながら引き続き実施していく ・継続	○	継続	必要に応じ実施していく。 ・伐木を継続実施。										継続
	R4	○	継続	・姫川の堤防侵食対策の実施 ・関川の維持掘削を継続実施				○	継続	引き続き実施していく。	○	継続	河道掘削及び伐木を継続実施。										
堤防天端の保護、堤防裏法尻等の補強等の実施	R3	×	完了	河川整備計画にある危機管理型ハード対策が全て完了した。				○	継続	堤防天端の保護工を実施していく ・継続	○	継続	必要に応じ実施していく。 ・R3は実績なし。										継続
	R4	－	－	－				○	継続	引き続き実施していく。	○	継続	R4は実績なし。										
河川防災ステーション等の検討・整備	R3	○	継続	引き続き、調整していく。 ・継続				○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	継続
	R4	○	継続	引き続き、調整していく。 ・継続				○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	必要性を検討した。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
立ち退き避難が必要な区域・避難方法の検討、垂直避難等、柔軟な避難方法の検討	R3													○	継続	引き続き、垂直避難等、柔軟な避難方法の検討・周知を行う。 ・洪水ハザードマップに立ち退き避難が必要な区域を掲載した。	○	継続	洪水ハザードマップの活用により、早期の避難行動により安全を確保するほか、垂直避難等浸水想定区域レベルに応じた対応を周知しており、引き続き出前講座等での周知を行っていく。 ・継続	○	継続	機会を捉え、ハザードマップの見直しを行うとともに、垂直避難や縁故避難など、柔軟な避難方法の周知を行う。 ・継続	継続
	R4													○	継続	垂直避難等柔軟な避難方法の検討・周知を引き続き実施していく。	○	継続	洪水ハザードマップの活用により、早期の避難行動により安全を確保するほか、垂直避難等浸水想定区域レベルに応じた対応を周知しており、引き続き出前講座等での周知を行っていく。 ・継続	○	継続	早めの避難など、必要な情報をハザードマップなどで周知した。	
重要水防箇所の共同点検の定期的な実施	R3	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・重要水防箇所等の合同点検を実施				○	継続	重要水防箇所等の共同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・重要水防箇所等の合同点検を実施	○	継続	点検は必要であることから継続する。 ・重要水防箇所等の合同点検を実施	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の点検は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・重要水防箇所等の合同点検を実施	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	消防団に対し、河川巡視への参加を要請する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	重要水防箇所等の合同点検を実施した。出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き取り組んでいく。 ・継続				○	継続	・重要水防箇所等の合同点検を実施	○	継続	重要水防箇所等の合同点検を実施	○	継続	・重要水防箇所等の合同点検を実施した。	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検等を実施した。	
水防資機材の定期的な確認・整備	R3	○	継続	出水期前における水防資機材の確認・整備等を行う合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・水防資機材の確認・整備等を行う合同点検を実施				○	継続	水防備蓄材等の共同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・水防資機材の確認・整備等を行う合同点検を実施	○	継続	点検は必要であることから継続する。 ・水防資機材の確認・整備等を行う合同点検を実施	○	継続	出水期前における水防資機材の確認・整備等を行う点検は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・出水前に関川・姫川水防連絡会の構成員と水防資器材の確認・整備等行う合同点検を実施	○	継続	出水期前における水防資機材の確認・整備等を行う合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	引き続き、必要な水防資機材の整備・点検を行う。 ・継続	継続
	R4	○	継続	水防資機材の確認・整備等を行う合同点検を実施した。出水期前における水防資機材の確認・整備等を行う合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き取り組んでいく。 ・継続				○	継続	・水防資機材の確認・整備等を行う合同点検を実施	○	継続	水防資機材の確認・整備等を行う合同点検を実施	○	継続	・出水期前に関川・姫川水防連絡会の構成員と水防資器材の確認・整備等行う合同点検を実施した。	○	継続	出水期前における水防資機材の確認・整備等を行う合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	水防資機材の点検及び整備を実施した。	
新技術を活用した水防資機材の検討・配備	R3	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続				○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続										継続
	R4	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続				○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討中。										

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
水防実働訓練の定期的な実施	R3	○	継続	出水期前における水防実動訓練は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・感染症対策により規模を縮小したが、水防実動訓練を実施。	○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。 ・水防実動訓練の実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○	継続	水防実働訓練は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続	○	継続	訓練は必要であることから継続する。 ・感染症対策により規模を縮小したが、水防実動訓練を実施。	○	継続	出水期前における水防訓練は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・感染症対策により規模を縮小したが、水防実動訓練を実施。	○	継続	出水期前における水防実働訓練は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	有事の際、迅速な水防活動が展開できるよう、消防団と連携し、関係機関が主催する水防訓練に参加する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	感染症対策により規模を縮小したが、水防実動訓練を実施した。 ・継続	○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。 ・水防実動訓練の参加実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○	継続	引き続き取り組んでいく。	○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	出水期前における水防実動訓練を実施した。	○	継続	出水期前における水防実働訓練は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	関川・姫川水防連絡会が主催する水防訓練に参加した。	
水防技術講習会の定期的な実施・支援	R3	○	継続	水防技術基礎講座は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・.水防訓練、水質事故対応訓練を実施。				○	継続	水防技術講習会は、有事に備えた技術の再確認のほか、関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続	○	継続	講習会は必要であることから継続する。 ・水質事故対応訓練に参加。	○	継続	出水期前における水防訓練は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・感染症対策により規模を縮小したが、水防実動訓練を実施。	○	継続	水防技術基礎講座は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	消防団と連携し、水防技術向上のための訓練を開催するよう要請する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	・.水防訓練、水質事故対応訓練を実施した。水防技術基礎講座は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続				○	継続	・.水防訓練、水質事故対応訓練に参加。	○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	引き続き実施を検討していく。	○	継続	水防技術基礎講座は、有事に備えた水防技術の鍛錬や伝承の場として有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	消防団員を対象とした水防技術講習会を実施した。	
排水実働訓練の定期的な実施	R3	○	継続	排水訓練や現地確認は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・適宜排水訓練や現地確認を実施。	○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。 ・排水実働訓練の実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○	継続	排水実働訓練は、有事に備えた技術や手順等の再確認のほか、関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続	○	継続	訓練は必要であることから継続する。 ・R3は特になし。	○	継続	出水期前における水防訓練は、有事に備え、有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・感染症対策により規模を縮小したが、水防実動訓練を実施。	○	継続	排水訓練や現地確認は、有事の備えとして有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	有事の際、迅速な水防活動が展開できるよう、消防団と連携し、関係機関が主催する水防訓練に参加する。 ・継続	継続
	R4	○	継続	定期的な排水訓練を実施するとともに、出水期前に災害対策車両運営受注者とともに出動想定箇所の現地確認を実施。 ・継続	○	継続	地域支援チームを組織し、「あなたの町の予報官」として市町村との連携強化のため引き続き参加する。 ・排水実働訓練の参加実績はなかったが、市町村との連携強化のため引き続き参加。	○	継続	引き続き取り組んでいく。	○	継続	引き続き、取り組んでいく。	○	継続	消防局主催の排水実動訓練を実施に参加した。	○	継続	排水訓練や現地確認は、有事の備えとして有効であり、引き続き参加していく。 ・継続	○	継続	消防団において、排水にも活用可能な小型ポンプの操作訓練を実施した。	
水防協力団体の募集・指定	R3													○	継続	引き続き、消防団協力事業所の募集を行うとともに、消防団と協力していく。 ・消防団活動に協力する「消防団協力事業所」について随時ホームページ等で募集を行っている。なお、水防協力団体に特化した募集は行っていない。	○	継続	水防活動の担い手として消防団員（水防団員）の確保は重要であり、引き続き募集活動を継続していく。 ・継続	○	継続	引き続き、消防団員の獲得に努める。 ・継続	継続
	R4													○	継続	商工会議所及び商工会を通じて、会員企業に対し、消防団協力事業所募集の案内を送付した。また、消防団協力事業所のホームページの更新を随時行った。	○	継続	水防活動の担い手として消防団員（水防団員）の確保は重要であり、引き続き募集活動を継続していく。 ・継続	○	継続	消防団員の処遇改善など、団員確保に努めた。	
水防団との定期的な情報共有、連携	R3													○	継続	引き続き、実施していく。 ・定期的な情報共有を実施している。	○	継続	迅速な水防活動につなげるため、水防連絡会での水防団の配置や管轄区域等の情報の共有を図っていく。 ・安心メールや公式LINEを通じた防災情報の提供など、引き続き、水防団との情報共有、連携を図る。	○	継続	関係機関と情報共有を図る。 ・継続	継続
	R4													○	継続	定期的な情報共有を実施していく。	○	継続	迅速な水防活動につなげるため、水防連絡会での水防団の配置や管轄区域等の情報の共有を図っていく。 ・安心メールや公式LINEを通じた防災情報の提供など、引き続き、水防団との情報共有、連携を図る。	○	継続	消防団との定期的な会議を開催し、意見交換及び情報共有に努めた。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
大規模工場等への啓発活動・支援	R3	○	継続	・地域経済の持続は重要であるため、国として可能な情報提供・支援は継続していく。 ・継続				○	継続	・地域経済の持続は重要であるため、県として可能な情報提供・支援は継続していく。 ・継続	○	継続	・地域経済の持続は重要であるため、県として可能な情報提供・支援は継続していく。 ・R3は特になし。	○	継続	R3年度以降検討する。 ・継続	○	継続	各事業所で実施している対応（避難体制や浸水防止対策、備蓄品の整備など）に差があることを踏まえ、新たな浸水想定（想定最大規模）を踏まえた浸水リスクや水害対策等の情報提供を引き続き実施していく。 ・継続	○	継続	・R3年度以降検討する。 ・R4年度以降検討する。	継続
	R4	○	継続	支援の要請は無かったが、地域経済の持続は重要であるため、国として可能な情報提供・支援は継続していく。 ・継続				○	継続	・引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き検討中	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	各事業所で実施している対応（避難体制や浸水防止対策、備蓄品の整備など）に差があることを踏まえ、新たな浸水想定（想定最大規模）を踏まえた浸水リスクや水害対策等の情報提供を引き続き実施していく。 ・継続	○	継続	必要性を検討した。	
大規模水害を想定した排水計画（案）の検討を実施	R3	○	継続	現在検討中のため、継続実施。 ・継続				○	継続	有効かつ効率的な運用の実現が必要であると認識しているため、引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	必要に応じて検討する。 ・R3は特になし。	○	継続	現在検討中のため、継続実施。 ・継続	○	継続	新たな浸水想定（想定最大規模）を踏まえ、排水施設や資機材の整備について、必要に応じて検討する。 .・継続	○	継続	新潟県と連携して検討する。 ・継続	継続
	R4	×	完了	・大規模水害を想定した排水計画（案）の検討を実施				○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き検討中	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	新たな浸水想定（想定最大規模）を踏まえ、排水施設や資機材の整備について、必要に応じて検討する。 .・継続	○	継続	必要性を検討した。	
排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	R3	○	継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続				○	継続	有効かつ効率的な運用の実現に向けた連絡体制構築が有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続	○	継続	必要に応じて検討する。 ・糸魚川市と情報共有。	○	継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・連絡体制の整備完了	○	継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であり、引き続き訓練等に参加していく。 ・継続	○	継続	関川・姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を行う。 ・継続	継続
	R4	○	継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・継続				○	継続	引き続き取り組んでいく。	○	継続	糸魚川市と情報共有を継続。	○	継続	引き続き連絡体制を強化していく。	○	継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であり、引き続き訓練等に参加していく。 ・継続	○	継続	関川・姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を行った。	
浸水被害軽減地区の指定の検討	R3	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続				○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・R3は特になし。	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	継続
	R4	○	継続	検討に必要な情報提供等を引き続き行う。 ・継続				○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き検討中。	○	継続	引き続き検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。 ・継続	○	継続	令和4年度中に新たに示される浸水想定区域図について、県と協議を行った。	
災害対応にあたる人材の育成	R3	○	継続	国の実施する災害研修、訓練等の情報提供や災害時の体制強化について支援は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・各種災害研修、訓練等を実施				○	継続	・災害研修、訓練等は有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き取り組んで行く。 ・継続	○	継続	必要に応じて検討する。 ・水防説明会、情報伝達訓練等を実施。（内部）	○	継続	国の実施する災害研修、訓練等の情報提供や災害時の体制強化について支援は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。 ・各種災害研修、訓練等を実施	○	継続	国が実施する災害研修、訓練等の情報提供や災害時の体制強化、上越市・妙高市との災害時の支援体制整備は、有事の備えとして有効であり、引き続き取り組んでいく。 ・継続	○	継続	県などが主催する研修会に参加し、人材育成に努める。 ・継続	継続
	R4	○	継続	各種災害研修への参加、訓練等を実施 ・継続				○	継続	引き続き取り組んでいく。	○	継続	引き続き訓練・研修等を実施。	○	継続	・各種災害研修、訓練等を実施した。引き続き実施していく。	○	継続	国が実施する災害研修、訓練等の情報提供や災害時の体制強化、上越市・妙高市との災害時の支援体制整備は、有事の備えとして有効であり、引き続き取り組んでいく。 ・継続	○	継続	国や県が実施する訓練等に参加し、人材育成に努めた。	

様式1－取組一覧（取組状況確認様式）

1）各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載

2）「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外した項目に関しては、青ハッチングで示した

凡例
※上段：令和4年4月27日協議会時の今後の対応とR3実施内容
※下段：令和5年2月段階の実施状況（R4進捗）

減災のための取組項目（概ね5年間）		高田河川国道事務所			新潟地方気象台			新潟県上越地域整備部			新潟県糸魚川地域整備部			上越市			糸魚川市			妙高市			今後5年間の対応方針（案）
「大規模氾濫減災協議会」の運用に記載されている取組事項		今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			今後５年間の対応			
実施内容（変更案）		今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外		実施内容	
災害情報の共有体制の確立	R3	○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。 ・web会議システムの構築を進めた				○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。 ・継続	○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。 ・R3は大きな動きはなし。	○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。 ・継続	○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。 ・継続	○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。 ・継続	継続
	R4	○	継続	Web会議システム使用に関わる協定書を作成した。また、流域タイムラインの作成を検討した。今後も災害情報体制の強化のための検討を進めていく。 ・継続				○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。	○	継続	引き続き検討中。	○	継続	引き続き実施していく。	○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。 ・継続	○	継続	関川・姫川水防連絡会などと連携し、災害情報の共有体制の強化に努めた。	